第 146 回

近畿地方交通審議会

近畿船員部会議事録

令和２年１１月２４日

日　時　　令和２年１１月２４日（火）　１６時３０分から

場　所　　近畿運輸局　会議室（船員部会室）

出席者　　公 益 委 員　藤本委員、北山委員、横見委員、定岡委員

労働者委員　大滝委員、服部委員、井上委員

使用者委員　礒合委員、四宮委員

運　輸　局　杉本海事振興部長、鹿野海事振興部次長、
竹内船員労政課長、仲船員労政課専門官、
藤木船員労働環境・海技資格課長

議題１．管内の雇用等の状況について

議題２．その他

議　事　概　要

藤本部会長：

それでは、ただ今から第１４６回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第１４５回部会」の議事録につきまして、ご承認願いたいと思います。ご異議ございませんか。

（異議なし）

無いようですので、ご承認をいただいたものといたします。

次に、議題１の「管内の雇用等の状況」につきまして、運輸局から説明をお願いします。

竹内船員労政課長：

それでは「令和２年１０月分管内雇用状況」について、ご説明させていただきます。

１．職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、５４人（前月比－１６人、２２．９％の減、前年同月比：－５４人、５０．０％の減）となっています。

月間有効求人数は、１５３人（前月比－１１人、６．７％の減、前年同月比：－２８人、１５．５％の減）となっています。

②求職関係

新規求職者数は、２２人（前月比＋１０人、８３．３％の増、前年同月比：＋４人、２２．２％の増）となっています。

月間有効求職者数は、５２人（前月比＋６人、１３．０％の増、前年同月比－２人、３．７％の減）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、７人（前月比：０人、０％の増減無、前年同月比：－１人、１２．５％の減）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員２人、甲板部部員１人、機関部職員１人、機関部員３人となっています。

年齢別については、１０歳代０人、２０歳代１人、３０歳代２人、４０歳代０人、５０歳代２人、６０歳代１人、７０歳代１人となっています。

２．新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員４２人（甲板部２１人、機関部２１人、無線部０人、事務部０人）、部員１２人（甲板部７人、機関部２人、無線部０人、事務部３人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員１０人（甲板部５人、機関部４人、無線部１人、事務部０人）、部員１２人（甲板部７人、機関部１人、無線部０人、事務部４人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合６人、定年退職が１人、雇用期間満了３人、本人の申し出７人、自己の健康０人、倒産１人、就労中２人、不明２人となっています。

③新規求職者の年齢別

３０歳未満１人、３０歳代３人、４０歳代５人、５０歳代２人、６０歳以上１１人となっています。５０歳以上は、１３人で占める割合は５９．１％、３０歳未満の占める割合は４．５％です。

３．失業等給付金支給状

受給資格者数は１２人で、基本手当の支払実人数は４人、給付件数は４件となっています。給付金額は５６３，８８７円です。前月は３人、５件の７１４，４６２円でした。

それから、高年齢求職者給付金が１件３４２，５００円、再就職手当が１件６５０，４７５円、よって、当月支給額計は、１，５５６，８６２円となります。

４．月間有効求人倍率の推移

１０月の近畿船員は２．９４倍で、前月比－０．６３ポイント、前年同月比、－０．４１ポイントとなっています。

５．近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は１５３人で、このうち、新規求人者数は５４人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は１人、他局成立は２名でございました。

求人の取り消しは３９人で、理由の内訳は有効期限切れ２８人、自己応募・縁故により採用２人、会社都合により取り下げ９人、その他は０人となっています。

②月間有効求職者は５２人で、前月との差は＋６人でした。

当局の紹介による求職側の成立は２人、他局成立は２人でした。

求職の取り消しは１７人で、理由の内訳は期限切れ１２人、自己応募・縁故により採用３人、自己都合により取り下げ１人、その他１人となっています。

６．全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①９月の全国の月間有効求人数は、２，２８５人で、前月比９４．１％、前年同月比は９２．１％となり、１９７人減少しています。

②９月の全国の月間有効求職数は、１，０３２人で、前月比９７．４％、前年同月比９９．２％となり、８人減少しています。

③９月の全国の成立数は、９５人で、前月比１１８．８％、前年同月比では１０６．７％となり、６人増加しています。

④９月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により２．３９倍となっています。９月の全国陸上は季節調整値により１．０３倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

藤本部会長：

資料１、２、３について、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

また何かあれば、後ほどお伺いいたします。

それでは、次に議題の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

鹿野海事振興部次長：

資料４を説明申し上げます。

９月分の概要ですが、貨物船の輸送量は、１，５７８万３千トンで、前年同月比８７％、前月比で１０３％となっています。

一方、２ページ目のタンカーの輸送量は、７９６万５千kl で前年同月比８６％、前月比で９１％でした。

全体として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で前年同月比ではマイナス傾向にあって、貨物船については徐々に回復が見られてきていますが、油送船については厳しい環境下にあります。

続いて、３ページ以降の貨物ごとの状況です。

９月の欄と対前月の欄をご覧下さい。

鉄鋼ですが、前年同月比で ７３．２％、前月比では９９．５％

原料は、前年同月比で８８．８％、前月比では９４．１％

燃料は、前年同月比で９０．０％、前月比では９４．８％

紙・パルプは、前年同月比で７２．３％、前月比では９１．９％

雑貨は、前年同月比で８８．６％、前月比では １０５．５％

自動車は、前年同月比で９３．９％、前月比では １２８．２％

セメントは、前年同月比で９０．６％、前月比では９２．９％

この結果、貨物船全体では、前年同月比で８７．２％、前月比では１０３．４％となっています。

次のページをご覧ください。タンカーの状況です。

黒油は、前年同月比で９４．６％、前月比では９１．３％

白油は、前年同月比で８４．４％、前月比では９１．９％

ケミカルは、前年同月比で７８．４％、前月比では８８．４％

この結果、一般タンカーの合計は、前年同月比で８６．４％、前月比では９１．５％となっています。

続きまして、高圧液化は、前年同月比で８３．５％、前月比では８９．０％

高温液体は、前年同月比で１１１．５％、前月比では１０３．９％

耐腐食は、前年同月比で８０．７％、前月比では８７．０％

この結果、特タン船の合計では、前年同月比で ８５．０％、前月比では８９．７％となっています。

全てのタンカーの合計では、前年同月比で８６．２％、前月比では９１．３％となっています。

次に資料５、長距離フェリーの令和２年９月の輸送実績でございます。

９月のところと、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずトラックですが、北海道は、１６，４６０台で、前月比で１０２．２％、前年同月比では１０１．６％。

北九州は、２８，７７４台で、前月比で１０５．０％、前年同月比では９０．３％。

中九州は、９，９２７台で、前月比で１０９．５％、前年同月比では９１．６％。

南九州は、９，９３１台で、前月比で９６．８％、前年同月比では８９．５％となっています。

次のページ、旅客でございます。

北海道は、１２，２４８人で、前月比で ９４．２％、前年同月比では７４．４％。

北九州は、３７，２９２人で、前月比で　９８．７％、前年同月比では　５４．６％。

中九州は、１４，２９６人で、前月比で　１１８．８％、前年同月比では４８．２％。

南九州は、１２，９６５人で、前月比で　１０３．５％、前年同月比では４９．４％となっています。

次のページ、乗用車でございます。

北海道は、４，００２台で、前月比で１００．３％、前年同月比で　７２．３％。

北九州は、１７，３８８台で、前月比で９９．０％、前年同月比で８５．１％。

中九州は、２，６８８台で、前月比で１０２．８％、前年同月比で６５．７％。

南九州は、５，０７２台で、前月比で１０３．３％、前年同月比で６８．４％となっています。

続きまして、資料６についても続けて説明させていただきます。

この資料６につきましては、前回の船員部会で大滝委員から、海洋教育のカリキュラム等についてまとまったものはないかとお話しいただきましたので、それに対応したものということで、今回お出ししているものでございます。

内容としましては、１ページ目が小学校、２ページ目が中学校での学習内容で、社会という欄の左側に新学習指導要領での学習内容、つまり学習指導要領において勉強させなさいということが書かれておりまして、その右の欄が社会科で実際にそれに対応して教授する内容となっており、さらに右側の欄では社会科以外の科目でこういった取組みができるのではないかということを取りまとめているという内容になっています。

これ自体は一昨年度、本省の海事局で教科書の大手出版社であります東京書籍（株）に委託して、新学習指導要領に対応した海洋教育に関するプログラム案というのをつくったときに、全体を見渡せる資料として同時に作成されたものでございます。

内容的には、小学生の低学年の間は具体的な物流というのはなかなか教えにくいため、私どもの用語で言いますと海事思想の普及といいますが、海に関心を持ってもらうというレベルでの話、内容になっていて、５年生から物流に関係する内容を教えていくということがまとまった資料になっているということで、今回お出しさせていただきました。

以上でございます。

藤本部会長：

ご説明ありがとうございました。

資料４、５、６に関してご質問等ございませんでしょうか

大滝委員：

資料５に関してなんですけれども、やはり長距離フェリーが、トラックは大分戻りつつあるのかなという印象はするんですけれども、一方で旅客乗用車といった一般の人たちの利用というのはなかなか厳しい状況が続いているんじゃないかというふうに読み取れます。そういった中で、ここには入っていないんですけれども、和歌山から徳島を航行しているカーフェリーがあり、非常に厳しい状況が続いている。このままいくとなかなか経営が厳しく、どこかで手を付けないと、というぐらいの水準だと思うんですよ、旅客のほうは。そうなると、我々からいいますと、雇用というところがどうしても心配になる、賃金なのか雇用なのかという部分が出てくるかなというところで危惧をしているような状況が続いています。

コロナがまた11月の終わりから、最近また増えてきて、なかなか人が動きづらい中でのこういうところなので、やっぱり何らか、ここで言ってもというところはあるんですけれども、行政の支援なり、今もやっていただいている部分はありますけれども、さらに一歩進んでやっていただければなというところで後ほどうちの委員からも、その他の部分で、この間、定期全国大会がありましたから、その内容を踏まえた申入れ等々も行政それから自治体にやらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いしたいということと、あと、先週からぱしふぃっくびいなすがいよいよ天保山に戻ってきまし

て、12月の頭から営業航海を再開することになりました。利用してくださいという話はここでするわけではないんですけれども、そこもやはりソーシャルディスタンスとかそういうことを考えて、通常の旅客定員を大幅に減らした旅客人員じゃないとなかなか厳しいような状況が続いておりますので、そういう状況の中で、乗組員、ぱしふぃっくびいなすの場合は外国人も含めてですけれども、運航定員が乗って頑張っておりますので、ここではご報告だけさせていただきたいと思います。

以上です。

藤本部会長：

そのほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、船員政策等に関してご意見等賜りたいと思います。

まず、労働者側からいかがでしょうか。どうぞ。

井上委員：

先ほど若干触れていただいたんですけれども、今月11月11日に全日本海員組合の定期全国大会という今後の活動を決める大会が開催されまして、向こう１年間の活動について方針が決定したということで、様々な課題等がある中で、今後、各地方自治体であったり関係各所に要請に伺うと思いますので、近畿運輸局さんにも場合によっては伺うこともあるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

藤本部会長：

そのほか、よろしいですか。

では、使用者委員の方から、何か。

四宮委員：

先月の船員部会でもお話させて頂きました内タン主催の学校訪問の件ですが、10月27日に鳥羽商船高等専門学校に弊社担当者が行ってきました。
参加者は、オペレーターが２社、船主さんが１社、あと事務局が1名の４名と報告を受けております。今回も富山商船高等専学校と同様で生徒さんとの面談はできなかったのですが、鳥羽商船につきましては卒業生のほとんどが内航船に乗っているということを先生から教えて頂きました。
今後は、鳥羽商船にも船員の募集を行い採用できるようにしていきたいと考えております。

藤本部会長：
ありがとうございました。
新型コロナで、どこへ行くにしても検温とか２週間前の体調チェックとかというのはどこでもやっていることですので、特に学校関係ですとクラスターが発生してしまうともう即閉鎖となってしまうので、極力外部の人が来られることに関しては神経をかなり使っているという部分があります。
もちろん、船の中でも対外的にいろいろ、ステベさんとかが乗ってきたり、そういうことでかなりご苦労があると思いますけれども、早く収束していただいて、旅客等も動きができるようになればなというところではあります。
その他、公益委員の方々、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。どうぞ。

服部委員：
今、コロナの感染が再拡大しているという中で、コロナ関連で倒産とか事業撤退とかいう話は何か運輸局のほうで情報収集されていたら教えていただきたいんですが、今日じゃなくていいので、またよろしくお願いします。

竹内船員労政課長：
海運関係事業者を所管している旅客課及び貨物・港運課に確認のうえ、報告させて頂きます。

服部委員：

あればでいいのでお願いします。

竹内船員労政課長：

承知いたしました。

藤本部会長：

他にいかがでしょうか。

無いようでしたら、事務局から前回の各委員からのご質問についての回答をしたいということですのでお願いします。

藤木船員労働環境・海技資格課長

前回の部会でご質問いただきました件で回答させていただきます。

１点目ですが、井上委員よりご質問のありました船員の健康確保に向けてにつきましては、令和元年７月の交通政策審議会海事分科会船員部会において、より具体的な制度設計について検討を行うとして、専門的知見を有する有識者等が参画する「船員の健康確保に関する検討会」を立ち上げ、令和元年９月より船員部会と並行して議論が行われ、１０月１９日にこの検討会でとりまとめられた結果が公表されました。従いまして、船員部会の働き方改革の取りまとめと検討会の取りまとめは一体のものであるとご理解いただければと思います。

２点目の開委員よりご質問のありました新型コロナウイルス感染症の情報ですが、現時点で全国の発生状況というものは入ってきておりませんで、近畿管内では内航船で１件、１名の感染者がありました。当該船員は休暇下船中にクラスター発生施設の利用があり、乗船後に発症したため、ＰＣＲ検査を受け、陽性判定が出たもので、濃厚接触者となる同船の他の乗組員についてもＰＣＲ検査を受検、結果は全員陰性でした。本船の対応としては、乗組員の待機、船内消毒等が行われたという情報が入っております。

以上です。

藤本部会長：

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は１２月２１日（月）１６時００分からとなっておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

（配付資料）

資料１．令和２年１０月分　近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料２．令和２年１０月分　月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料３．令和２年１０月分　局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料４．内航輸送実績状況（令和２年９月分まで）

資料５．長距離フェリー輸送実績の推移（令和２年９月まで）

資料６．海事に関する学習内容を中心としたカリキュラム